

コード No. 10053

**Anti-Human
VEGF (16F1) Mouse IgG MoAb**

容量 : 500 µg

ロット No. :

はじめに : VEGF (Vascular Endothelial Growth Factor)は、ヒト下垂体前葉由来細胞株の培養上清から発見された、血管内皮細胞に特異性の高い増殖因子であり、同時に発見された VPF (Vascular Permeability Factor)と同一の因子であることが遺伝子解析の結果明らかになりました。タンパク質の三次構造の基本は、PDGF (Platelet Derived Growth Factor)と類似しており、PDGF ファミリーの一員とされています。ヒト VEGF は、2つの同一ポリペプチドが、ジスルフィド結合によって連結したホモダイマーであり、スプライシングの違いにより4つのアイソフォームがあり、それぞれ 121 (VEGF121), 165 (VEGF165), 189 (VEGF189), 206 (VEGF206)個のアミノ酸より構成され、その中で VEGF165 が最もポピュラーに存在します。VEGF は、培養血管内皮細胞の増殖、遊走、プロテアーゼ活性の亢進、コラーゲンゲル内での血管様構造の形成など、血管新生のステップを促進し、*in vivo*でも血管新生や血管透過性を促進します。また、多くの腫瘍細胞から産生分泌され、そのレセプターは主に血管内皮細胞で発現していることから、腫瘍の血管新生との関連が考えられています。

免疫抗原 : リコンビナント Human VEGF (*E.coli*)起源 : マウス×マウス ハイブリドーマ (培養上清)
(X63 - Ag 8.653 × BALB/c マウス脾臓細胞)

クローン名 : 16F1 サブクラス : IgG2a

精製方法 : Protein A による特異精製

包装形態 : PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加 (この時濃度は 500 µg/mL となります)

保存方法及び安定性 : 2~8°C 保存 5年間安定
溶解後 -20°C 保存 2年間安定使用目的及び : ウェスタン・ブロッティング 2~5 µg/mL にて使用可能、
中和活性あり
3 µg/mL (VEGF 50ng/mL に対して) にて使用可能

特異性 : ヒト VEGF (ホモダイマーのみ) に反応

文献 : 1. Suzuki H, Seto K, Shinoda Y, Mori M, Ishimura Y, Suematsu M, Ishii H. Paracrine upregulation of VEGF receptor mRNA in endothelial cells by hypoxia-exposed hep G2 cells. *Am J Physiol.* 1999 Jan; 276(1): G92-7.